

要望書（回答）

1 サイクリングロードの整備について【新】

国道276号線（高丘⇄丸山間）のサイクリングロードは、平成15年に距離表示版を設置し、ロードワークに適した練習場所として多くのチームや市民に活用されています。2020年度は東京五輪マラソン競技が札幌で開催されることもあり、これまで以上に合宿利用が見込まれます。

つきましては、ひび割れや雑草等により、一部に危険な箇所が見受けられることから、サイクリングロード（歩道）の保全整備について要望いたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課、都市建設部道路維持課 担当）

今年度、まちかどミーティングにおいて、双葉町町内会から高丘から第2霊園までのサイクリングロードについて、痛みがひどく走りにくいとの指摘があり、道路管理者の北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所に改修の要望を行い、「現地を確認し、通行に支障があると判断した箇所は改修しました」と伺っております。

今後は、要望箇所も含め、サイクリングロードが安全に利用できるよう、スポーツ関係部局等と連携し、保全整備等を道路管理者である北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所に要望してまいります。

2 白鳥王子アイスアリーナウォーミングアップエリアの設置について【継続】

白鳥王子アイスアリーナは、アイスホッケー競技を中心に国際大会や全国大会等が多数開催されていますが、現在、ウォーミングアップ及びダウンは、アリーナ前のエントランスで行われています。

関係競技団体やチーム等からも要望が寄せられていることに加え、練習効率の向上や一般客への安全性の配慮、国際大会誘致の観点から、白鳥王子アイスアリーナ近辺へのウォーミングアップエリアの設置と諸施設整備について、ご検討頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

白鳥王子アイスアリーナは、アイスホッケー競技のナショナルトレーニングセンターに指定されており、各カテゴリーの日本代表による合宿や、アジアリーグをはじめとする多くの全国大会などが開催されております。

そのような中で、これまでもウォーミングアップエリアなどについての要望をいただいております。各関係者からも必要不可欠と伺っているところです。

今後につきましては、ナショナルトレーニングセンターの機能をさらに充実させることや、他競技においても屋内での練習環境が整うことで、合宿誘致などに有効であると考えられますので、他のスポーツ施設の老朽化対策との優先順位を見極めながら検討していきたいと考えております。

3 スポーツ合宿等補助制度の継続について【継続】

平成 27 年に設けられたスポーツ合宿等補助制度により、本市を合宿地に選ぶ団体が増加し、多数のリポート利用に繋がっています。

合宿地としての知名度向上と、宿泊施設を始めとする関連事業者への経済波及にも大きな影響があることから、本制度の継続をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

スポーツ合宿等補助制度は、平成 27 年度から開始し、さらに平成 29 年度に条件を緩和したことで、大きく合宿件数が増加傾向にあります。

また、苫小牧市スポーツ推進計画では、『活みなぎる「スポーツ都市」とまこまい』をテーマとして掲げており、スポーツによる活気あるまちづくりを推進していくツールとして、本制度の役割は大きく、地域経済にも大きな効果があると考えておりますので、引き続き本制度の周知を図り、合宿誘致を推進していきたいと考えております。

4 日本学生氷上競技選手権大会の 4 年に一度の開催について【継続】

日本学生氷上選手権大会（インカレ）開催について、学生が在学中に氷都苫小牧でプレーが出来るよう、4 年に一度苫小牧での開催をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

日本学生氷上競技選手権大会は、第 90 回大会より新たにショートトラック競技を加え、さらに開催地が分離開催となり、第 91 回のアイスホッケー競技を本市で開催したところであります。

この大会の開催につきましては、日本学生氷上競技連盟（以下「学連」という。）との協議が必要となりますが、現在、第 95 回大会にショートトラック以外の 3 競技を開催予定としております。

この大会は、本市の閑散期となる年末年始に開催しており、地域経済にも大きな効果があることから、引き続き学連と開催に向けて協議してまいります。

5 総合体育館の建設（改修）について【継続】

総合体育館は、1973 年に建設され、市民はもとより各種大会や合宿等でも利用され、本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきましたが、経年による老朽化が進んでいます。

今後、市政計画立案の際、多様な機能を有し、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がる新たな総合体育館の建設について、ご検討を頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

総合体育館につきましては、建設後 46 年が経過しており不具合箇所の改修や修繕を

しながら維持している状況にあります。

総合体育館は、市民の健康保持や各スポーツの地方大会をはじめ、全道・全国規模の大会や合宿などで年間約20万人を超える利用があり、本市のスポーツ振興に欠かすことができない施設であることから、他市の状況や財政シミュレーションを行うなど、今後の在り方について考えてまいります。

6 緑ヶ丘運動公園の合宿利用について【継続】

各施設の改修を終え、充実した機能を有する緑ヶ丘運動公園では、合宿利用が増加していますが、合宿チームのスケジュールを考慮した諸施設の利用について、ご協力をお願いいたします。

また、道央及び道北のテニス、陸上等の強豪チームは、春休み（3月）に練習場所を求めて雪の少ない地域で合宿を行っています。道内屈指のオムニコート、全天候型陸上競技場、積雪の少ない気候等、本市の優位性を活かした合宿誘致活動を推進する為、テニス場及び陸上競技場の早期運営について要望いたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

市内スポーツ施設の管理運営は指定管理者が行っており、市民への一般開放や専用利用、指定管理者の自主事業、大会等を含む合宿の調整など、様々な利用に対してスムーズに運営できるよう管理しております。

また、各施設の開館日延長や早期オープンにつきましては、近年、指定管理者の自主事業として対応いただいているところがございますが、その年の積雪量などにより、開館日や早期オープン日を固定できない状況がございますが、今後も指定管理者と連携を図りながら柔軟に対応してまいりたいと考えております。

7 大会・合宿誘致事業の推進体制強化について【継続】

本協議会としても、誘致活動を積極的に行ってまいります。各種の誘致活動推進には、自治体が先頭に立ったまちぐるみの取り組みが大きな要素となることから、財政支援の継続と併せより一層の活動強化をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ都市推進課 担当）

全国で初めてスポーツ都市宣言を行った街として、スポーツで街を活気づけるためには、大会や合宿を誘致し交流人口を拡大することが大切だと考えております。

今後におきましても引き続き、貴協議会と連携を密に取りながら誘致活動を推進して活気あるまちづくりを目指していきたいと考えております。

8 大会等誘致事業の推進体制の強化について【継続】

苫小牧市大会等誘致推進協議会の実情及び取巻く環境をご理解いただき、財政的支援の継続・強化をお願いいたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

貴協議会の大会等誘致事業につきましては、本市における交流人口の増加に伴う地域経済への波及効果が大きいのと考えておりますことから、今後も市内関係機関等と連携を図りながら、財政的な支援を行ってまいりたいと考えております。